

■川崎市「内水ハザードマップ」PR動画／タイトル・テロップ・画像説明

(タイトル)

川崎市 内水ハザードマップ

(画像)

川崎市のブランドロゴと洪水の様子

(テロップ)

多摩川を挟んで首都・東京に隣接し 便利で住みやすいまち「川崎市」

(画像)

川崎区を中心とした川崎市の空撮

ミューザ川崎シンフォニーホールの空撮

(テロップ)

先端産業や研究開発機関が集積するとともに
水辺の空間や緑豊かな自然にも恵まれています

(画像)

川崎大師、二ヶ領用水、東高嶺森林公園

(テロップ)

近年は地球温暖化に伴い 短時間・局所的に大雨が降るなど
雨の降り方が変化していることで全国的に浸水の危険性が高まっています
川崎市では 1時間の雨量が 52 mm～58 mmまでの降雨に対応した
下水道の整備を行っていますが
その能力を超える大雨や 河川の水位が高いときには
下水道や水路などから水があふれるおそれがあります

(画像)

大雨による川崎市内の内水氾濫の様子

(タイトル)

水害発生メカニズム

(テロップ)

水害発生メカニズムには「洪水」と「内水氾濫」があります
「洪水」とは 大雨によって河川の水位が高くなったときに
堤防を越えて水があふれたり 堤防が決壊して浸水する現象です

(画像)

河川の水位が高くなり、堤防を越えて水があふれているイラスト

(テロップ)

これに対して「内水氾濫」とは

下水道など排水施設の能力を超えた雨が降ったときや

雨水の排水先の河川の水位が高くなったときなどに

雨水が排水できなくなり浸水する現象です

(画像)

大雨によってマンホールから水があふれているイラスト

マンホールの蓋の溝から水があふれている映像

(タイトル)

内水ハザードマップとは

(テロップ)

川崎市では 短時間・局所的に降るゲリラ豪雨などの大雨や

水があふれたときの避難に対する日ごろの備えに活用していただくため

(画像)

川崎市の空撮

(テロップ)

「内水ハザードマップ」を作成しました

(画像)

内水ハザードマップ (地図面)

(テロップ)

「内水ハザードマップ」は あふれる水の範囲や

最大の深さを示した「地図面」

(画像)

内水ハザードマップ (地図面)

(テロップ)

浸水に対する備え方 防ぎ方 避難方法などの

情報を掲載している「情報面」で構成されています

(画像)

内水ハザードマップ（情報面）

（テロップ）

「内水ハザードマップ」は国の手引きを基に作成しています

（画像）

内水ハザードマップ（地図面）

（テロップ）

マップでは想定を超える最大級の水害に備え

河川や海の水位がとて高いときに

関東地域において過去最大規模の1時間に153mmの雨が降った場合を想定して

浸水の範囲や深さを示しています

（画像）

想定条件 関東地域における想定最大規模降雨 1時間に153mmの降雨 総降雨量 160mm

（文字情報）

（テロップ）

浸水の深さは 10cm～20cm未満を「黄色」 50cm～1mを「青色」

2m以上を「赤色」にするなど5段階で色分けしており

下水道管や排水施設の能力

地盤の高さを踏まえて浸水を想定しています

（画像）

10cmから2m以上まで5段階に色分けし、それぞれの浸水がどの程度までかを記した図

（テロップ）

「内水ハザードマップ」では

水害に備えるためのさまざまな情報も掲載しています

（画像）

内水ハザードマップ（情報面）

（タイトル）

雨の強さと降り方の目安

（画像）

雨の強さと降り方の目安を記した図

(テロップ)

1 時間に 50 mm以上の雨が降ると

マンホールから水が噴き出し 傘がまったく役に立たなくなります

(画像)

雨の強さと降り方の目安を記した図より、1 時間に 50～80 mmの雨が降った時の部分を強調

(テロップ)

さらに 1 時間に 80 mm以上の雨が降ると

息苦しくなるような圧迫感や恐怖を感じるようになります

(画像)

雨の強さと降り方の目安を記した図より、1 時間に 80 mm以上の雨が降った時の部分を強調

(タイトル)

避難情報

(テロップ)

警戒レベル 1 から 5 までに合わせた避難行動と 避難情報などをお知らせしています

適切に情報を入手して高いところへ避難するなど

警戒レベルに応じた命を守るための最善の行動をとりましょう

(画像)

警戒レベル・避難行動等・避難場所等および警戒レベル相当情報の例 (図表による文字情報)

(タイトル)

浸水時の行動

(テロップ)

内水氾濫については 浸水が発生しても建物の 2 階以上へ

「垂直避難」すれば安全を確保できます

20 cm程度の水深でも 水の流れによっては歩行が困難になります

(画像)

2 階以上へ垂直避難することを促すイラスト

(テロップ)

特に地下室や半地下などの「地下空間」では

一気に水が流れ込んでくるおそれがあります

無理をして屋外へ移動せず 高いところへ垂直避難しましょう

(画像)

水圧でドアが開かなくなった状態を示したイラスト

(タイトル)

日ごろからの備え

(テロップ)

何よりも大切なのは 日ごろからの備えです

自分の大切な家族の命や生活を守るために 自宅や勤務地
通院している病院 子どもの小学校や保育園などの生活圏を

「内水ハザードマップ」で事前に確認し

浸水の危険性や避難場所を把握しておきましょう

(画像)

家族で避難場所を確認しているイラスト

(タイトル)

大雨時や浸水時の注意点

(テロップ)

市内には鉄道の下などに アンダーパスと呼ばれる
道路が立体交差する場所があります

大雨のときには冠水するおそれがあるので

通行は避けましょう

(画像)

冠水したアンダーパスで車が立ち往生しているイラスト

(テロップ)

アンダーパスのある場所は

「内水ハザードマップ」に記載しています

(画像)

内水ハザードマップ（地図面）にあるアンダーパスの部分

(テロップ)

浸水時には ふたのはずれたマンホールや側溝など

危険な場所があります

まずは垂直避難を優先し

やむを得ず移動する場合には

長い棒を杖代わりにしたり

水が中にたまりにくい靴を選ぶなど 足元の安全を確保しましょう

(画像)

浸水した道路の危険性を杖で確認しながら歩く人のイラスト

(タイトル)

浸水被害を防ぐためには

(テロップ)

浸水の深さが浅いときは 土のうを設置したり

プランターや水を入れたポリタンクをレジヤーシートで包んで

並べたりといった方法で 家屋への浸水を軽減することができます

土のうは各区役所道路公園センターで配布しています

必要な場合は事前に連絡の上 道路公園センターまでお越しください

(画像)

家屋の入り口に土のうが積まれているイラスト

(テロップ)

ごみや落ち葉などが側溝や雨水ますに詰まると

雨水が流れにくくなります

雨水ますの上には乗り上げブロックや

プランターなどを置かないようにしましょう

(画像)

雨水ますの上には乗り上げブロックやプランターを置いている状態を「×」で禁止している映像

(テロップ)

お風呂や洗濯機 トイレの排水口など

意外なところから逆流した水があふれる場合があります

これらは水のうで栓をすることで防ぐことができます

(画像)

浴室と浴槽の排水口に水のうを置いているイラスト

(タイトル)

防災情報の確認

(テロップ)

災害時にはテレビ・ラジオ・ホームページ 防災メールなどにより
自ら防災情報を入手する心がけが必要です

(画像)

テレビ・ラジオ、ホームページ等、防災メール等、防災放送の文字情報と、それらを表した
イラスト

(テロップ)

「内水ハザードマップ」では各種「防災情報収集ツール」や
問い合わせ先などの情報も掲載していますので ご活用ください

(画像)

内水ハザードマップ (情報面)

(テロップ)

川崎市では全7区それぞれの状況に合わせた
「内水ハザードマップ」を用意しています

(画像)

扇形に並べた川崎市全7区のハザードマップ

(テロップ)

区役所で該当する区の「内水ハザードマップ」を配布しているほか
上下水道局や市役所本庁舎などの施設では すべての区のマップを配布しています

(画像)

内水ハザードマップを収納しているラック

(テロップ)

川崎市上下水道局のホームページでも
全7区の「内水ハザードマップ」を公表しています

(画像)

「川崎市 上下水道局」のクリック面
川崎市のホームページ、トップ画面から「内水ハザードマップ」のコンテンツ部分へと促す
矢印

(テロップ)

「ガイドマップかわさき」でも

内水ハザードマップの情報を確認することができます

(画像)

「ガイドマップかわさき」のクリック面

「ガイドマップかわさき」のホームページ、トップ画面

(テロップ)

「ガイドマップかわさき」では過去10年間における
浸水実績図なども確認することができます

(画像)

「ガイドマップかわさき」のホームページ、トップ画面から「浸水実績図」「防災マップ」
のコンテンツ部分を強調

(テロップ)

宅地または建物の取引の際に

取引の相手方が水害リスクを把握し

日ごろから大雨への避難行動などに役立てられるよう

情報提供をお願いします

(画像)

宅地建物取引業者の皆様へ（文字情報）

(テロップ)

私たちのまち「川崎」には さまざまな魅力があふれています

日ごろから水害に備え いざというときには適切な行動をとり

大切な命や生活を守りましょう

(画像)

多摩川、二ヶ領用水、等々力陸上競技場、生田緑地、日本民家園

(画像)

川崎市ブランドロゴ